

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連 (四国)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（店 長）	お客様の様子	・飲料は、暑いほど売上が伸びる。客数、売上、買上 点数ともに前月より増加している。夏休みに入り、子 連れでの買物シーンが目立ち、客単価も上昇してい る。
		衣料品専門店 （総務担当）	販売量の動き	・7月の売上は前年並みに推移したが、客単価の下落 傾向が続いており、依然として厳しい水準である。
		家電量販店（店 長）	販売量の動き	・夏物家電の需要が伸びてきている。エアコンが前年 の1.5倍、扇風機は2.2倍、冷蔵庫が1.3倍となってい る。
		家電量販店（営 業担当）	お客様の様子	・真夏日、猛暑日が続くなか、後半からエアコンの販 売台数が急速に伸びてきた。また、冷蔵庫も400リッ トル以上の大型が買換えの中心を占め、単価も少し上 昇してきている。ほとんどの顧客が設置場所の寸法を 測って来店し、できるだけ容量の大きい物を求めている。
		通信会社（支店 長）	販売量の動き	・新商品の品ぞろえが進み来客数が増えている。
		美容室（経営 者）	来客数の動き	・暑さのせい、来客数が多い。
	変わらない	商店街（事務局 長）	来客数の動き	・百貨店のセール開始が例年より後ろ倒しになっ たが、今春オープンした商業施設のセール来客が、週末 を中心ににぎわい、それをカバーしている。
		一般小売店〔生 花〕（経営者）	お客様の様子	・商店街の土曜夜市が始まり、土曜の夜だけは人出が 多い。屋台での食品は売れているが、商店の来客は少 ない。家族や学生が多く、自店の販売にはあまり関係 ない。
		一般小売店〔酒 類〕（経営者）	販売量の動き	・業務店の動きが悪い。お中元は例年並みに動いて いる。
		一般小売店 〔酒〕（販売担 当）	お客様の様子	・飲食店も客単価が安い店に客が集中しているよう に思う。安い店は納入価格に厳しく、なかなか売上が伸 びない。
		百貨店（営業担 当）	来客数の動き	・売上は前年より若干マイナスだが、客数は前年並 みに推移している。
		百貨店（販売促 進担当）	来客数の動き	・夏のクリアランスセールが昨年までは7月初旬に一 斉開始だったのが、今年は6月末からと7月中旬から の2パターンになり、来店が分散され、今まであった 他ショップとの連動（クロスセル）がなくなり、前年 を下回る結果になった。
		スーパー（店 長）	販売量の動き	・中元セールの動きが鈍く、前年割れを起こしてい る。
		スーパー（企画 担当）	単価の動き	・来店客数は前年並みに推移してきたが、梅雨明けが 前年より遅かったことから殺虫剤などの動きが遅れ、 客単価の上昇につながらなかった。
		スーパー（財務 担当）	販売量の動き	・天候不順等の影響が若干あったが、ほぼ昨年並み で推移した。
		衣料品専門店 （副店長）	単価の動き	・セールだからといって客単価がアップするわけでは なく、セールでなくても必要なものであれば購入する という感じであり、変わらない。
		家電量販店（店 員）	販売量の動き	・夏のボーナス商戦も盛り上がり、オリンピック特 需も無かった。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の終了時期が迫ってきたため、登録 台数は前年より増加している。
		乗用車販売店 （従業員）	販売量の動き	・販売台数自体は悪くないが、エコカー補助金効果に よるところが大きいので、いつまでも続くというもの ではない。
	旅行代理店（支 店長）	お客様の様子	・個人旅行は、国内では東日本大震災の反動とスカイ ツリー開業効果で、大型テーマパークを含む首都圏方 面の申込が多く、海外では円高、ユーロ安の影響で ヨーロッパ方面の申込が多い。一方、安・近・短の旅 も人気で、両極化している。	
	タクシー運転手	お客様の様子	・7月の客単価、売上等は3か月前と変わらず、あま り良くない。景気低迷の影響で、高知市内の大手タク シー会社が倒産した。	

	通信会社（営業担当）	販売量の動き	・夏モデル端末の市場投入や、各種販促施策の実施をしているものの、販売数の大幅な伸びは見受けられない。
	通信会社（企画）	お客様の様子	・オリンピック効果も特に無く、客の様子に変化はない。
	競艇場（職員）	販売量の動き	・7月は開催日数が4日しかなく売上の比較ができない。7月下旬に新スタンドがオープンしたが、オープン記念レース前半の来場客数、売上高とも思った程伸びなかった。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・梅雨時の豪雨、梅雨明けの気温の上昇が影響しているかもしれないが、特に夏休みに入ってから、学生や、ファミリー層を含めて週末も人出が非常に悪い。夏物バーゲンの売行きも振るわない。
	商店街（代表者）	それ以外	・消費税法案が通れば、内需産業や中小零細企業に未曾有の不況が来る。政局の混乱は続き、原発の再稼働問題、TPPなど政策が何一つ進まない。
	一般小売店〔菓子〕（総務担当）	お客様の様子	・買上単価、バスケット単価は変わらないが、客数が減少している。
	百貨店（総務担当）	来客数の動き	・来客数は前年比96.3%で推移した。中元の受注状況も前年比95.9%で推移した。クリアランスセール開始時期を2週間後ろ倒ししたことが影響している。
	スーパー（店長）	単価の動き	・梅雨明けが遅れ、夏物の売行きが非常に悪い。競合店の価格が一段と下落していることから、当店でも1品単価が下落傾向にある。
	コンビニ（総務）	単価の動き	・来店客数は前年比で前月より若干回復したが、売上高は単価が下落し、悪化している。
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・7月は、天候に恵まれながらも、バーゲン初日の売上は前年の20%ダウンとなった。近隣大型店の影響が大きいと思われる。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・エコカー補助金の駆け込み需要を期待していたが、8月前半で終了するという予想が発表された後は、新車購入の動きが止まった。今後、販売量が落ち込むことが不安である。
	乗用車販売店（役員）	販売量の動き	・エコカー補助金終了が迫り、受注も減少傾向、9月以降は登録部門も同じように減少すると考えられる。今後は、新車のマイナーチェンジ等に期待をしている。
	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・エコカー補助金終了が間近と予想される中、駆け込み需要を期待していたが、当初予想していたほどではなかった。土・日のフェア開催でも、補助金目的のお客様はほとんどいない。
	観光型旅館（経営者）	来客数の動き	・客の動きが悪い。九州新幹線や東日本大震災からの復興で、四国に人が来る条件がない。株価低迷、円高問題もあり、一般の人が消費を抑えるという傾向が出ているようである。あまり高い料金の旅館には客が来ない。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・東京スカイツリーの影響で、観光客が関東方面に流れており、宿泊客が減少しつつある。
	タクシー運転手	来客数の動き	・お遍路の仕事も減り、売上は大幅に減少している。街中では、1～2時間待って、やっと乗っていただいても近場が多い。夜は人通りもなく、売上は増えない。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き
	設計事務所（職員）	販売量の動き	・昨年度に受注した仕事量が次第に減り、底をつく状態近くまでになっている。同業者の増加により競争が激化し、新規受注が難しく、また低落化が恒常化してきており、次第に悪くなってきている。
悪くなっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	販売量の動き	・店頭売上は売行き良好といえる本が見当たらず、コンサートチケットも売れない。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・来店サイクルが長くなり、来客数が減少している。
企業動向関連	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・非常に引き合いが多くなり、成約もしている。また、再生可能エネルギーの固定価格買取制度開始による発電所計画の作業が大幅に増えている。

(四国)	やや良くなっている	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・復興関連需要の増加により受注・販売とも好調である。	
		輸送業（支店長）	受注量や販売量の動き	・スポット業務受注量が増加している。	
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・全体としては印刷物の量は増える傾向にある。	
変わらない	変わらない	繊維工業（経営者）	受注量や販売量の動き	・6月以降、全国的に雨模様で客足が減っていたが、7月中旬以降に梅雨が明けてからは急激に注文が増えている。	
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・全体的には悪い状況であるが、新商品投入で、少し良くなってきている。	
		電気機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・注文数、価格とも大きな変化はない。	
		建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・受注量が若干増えたが、まだまだ足りない。	
		通信業（部長）	取引先の様子	・夏商戦時期であるが、依然として景気が回復している兆しは見えてこない。	
		公認会計士	取引先の様子	・関与先企業の決算、月次の試算表等を見ると、ほとんどの企業が前年比、±5%以内で収まっている。従って、景気に関しては、変わらないと判断する。	
やや悪くなっている	やや悪くなっている	食料品製造業（商品統括）	競争相手の様子	・同業他社が為替による赤字で自己破産したり、民事再生の申立をした。世界的な経済不安が近いと感じる。	
		鉄鋼業（総務部長）	受注量や販売量の動き	・受注量の減少は、長引く円高の影響によるものである。	
		輸送業（営業）	受注量や販売量の動き	・家電製品や飲料等の季節商材の取扱量は梅雨明けからの気温上昇に伴い、前年同期より増加しており、8月に入っても好調に推移すると思われる。ただし、天候要因の一時的なもので、景気復調を実感できる要素ではない。	
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・結婚披露宴の予約が大幅に減少している。ゲームセンターの売上も前年より落ち込んでおり、回復傾向が見られない。節電による心理的な影響も考えられる。	
悪くなっている		-	-	-	
(四国)	雇用関連	良くなっている		-	-
		やや良くなっている	職業安定所（職員）	それ以外	・6月の月間有効求人倍率は0.68倍で、3か月前より0.04ポイント上回っている。
	変わらない	変わらない	学校〔大学〕（就職担当）	求人数の動き	・求人数が伸びており、前年より2割ほど増えている。
			人材派遣会社（営業）	周辺企業の様子	・賞与やお中元シーズンであるが、前年比では、販売件数が若干落ち込んでいるようだ。季節雇用で働く人材も予定より前倒しで業務が終了しており、購買意欲が低下していると考えられる。
			新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・カーディーラーはエコカー補助金終了前の駆け込みを狙って積極的な広告活動を継続したが、出稿に見合うほど売れていないようだ。その他の医療、スーパー、家電は低調である。
			職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数は増加傾向にあるものの、正社員の求人は3割で、前年同期と比べて3.2ポイント低下している。
	やや悪くなっている	やや悪くなっている	民間職業紹介機関（所長）	採用者数の動き	・採用人数は前年並みで推移している。業種間で採用意欲が違っており、医療・介護福祉関係では、看護師・介護士等の不足が続いている。
			人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・抵触日を迎える会社・部署が多くあり、直接雇用により派遣業の景気は悪くなる。
	悪くなっている	悪くなっている	求人情報誌（営業）	周辺企業の様子	・企業における新規事業の立ち上げ・新規店舗出店等が減少していることに伴い、求人数が減少している。
				-	-